

松原なぎさ校区 コミュニティ協議会だより

第 2号

平成 27 年 8 月 17 日発行
松原なぎさ校区コミュニティ協議会
発行責任者 追鳥 嘉正
編集者 広報部
matubara-aikomi@po5.synapse.ne.jp
松原地区公民館内 電話 73-8371

役員防災研修を実施

総務防災部会では、防災訓練の一環として 8 月 5 日(水)に役員参加による防災研修会を、鹿児島県防災研修センターで行いました。講師の馬場様による ①地震・津波のメカニズム ②火山の噴火による降灰の災害等の説明 ③緊急避難時の防災グッズ(別表)を常備しておく必要性を痛感いたしました。施設の見学では災害に対するクイズや、各災害のコーナーでは色々な対処方を見学し、最後に防災カッパ作成に参加者の皆さんのが熱心に取り組んでいました。今回の研修を参考に防災活動に役立てたいと思います。

また、これから本格的な台風シーズンになりますが、松原地区では昭和 26 年 10 月のルース台風の高潮、高波により松原海岸の堤防が決壊し、冠水による塩釜塩田や人家が倒壊し数名の被害者が出ています。今年で 64 年になりますが体験された方も年々少くなり記憶が風化しつつありますが、これから色々な記録や体験談を活かして、緊急避難や防災訓練に役立てたいと思いますので、皆様のご協力をよろしくお願ひします。



立山総務防災部会長挨拶



松下センター局長説明



火山噴火の予知シミュレーション

(別表)

防災グッズ

- ・水・食料
- ・メガネ
- ・常備薬
- ・お薬手帳のコピー
- ・身分のわかるもの(顔写真がついている方がいい・免許証など)のコピー
- ・保険証のコピー
- ・レジャーシート(ハーフケット・担架間仕切りの代用品になる)
- ・ひも・クリップ(大・小)
- ・ラップ(ひも・包帯として使用可)
- ・新聞紙(添え木・保温によい)



今後の行事計画

『小学生ドッジボール』大会を開催

- 会 場 … 松原なぎさ小学校体育館
- 日 時 … 平成 23 年 9 月 6 日(日) 午前 8 時 30 分 集合
- 参 加 者 … 松原なぎさ小学校のみなさん
- 提 出 先 … 地区連絡部員さんへ
- 申 込 み … 8 月 20 日(木)



会員の皆さんへ

コミュニティ広報誌では俳句や短歌の投稿を募集します。

自治会名と氏名を記入して、最寄りの自治会公民館及びコミュニティ事務局に提出して下さい。

広報部会

◆十五夜祭に参加しませんか◆

子ども育成部会では、地域のおじいちゃん、おばあちゃんといっしょに、綱引き・尻相撲・スリッパ飛ばしで、楽しいひとときを過ごす目的で十五夜祭を開催します。

- 日 時 … 9 月 13 日(日) 16:30 ~ 18:00
- 場 所 … 松原なぎさ小学校
- 締切日 … 8 月 24 日(月) 各自治会長まで



総務防災部会より

校区防災訓練を 11 月 29 日(日)に松原なぎさ小学校で実施します。

★ 海で地震が起きた時 → 遠い所より高い所

★ エレベータの中で地震が起きたら → 全部の

ボタンを押し、止まった階ですぐ降りる

第1回徘徊模擬訓練を終えて

健康福祉部会

4月26日に行われました「徘徊模擬訓練」の訓練終了後、グループに分かれて、意見交換を行いました。その内容の主なものを紹介します。

- ①『もし自分が「認知症」になったら、周りの人からどのように接してほしいと思いますか?』
 - ・声をかけてほしい(ゆっくりと。名前を呼んで。視線を合わせて・・など)
 - ・話をしっかりと聞いてほしい。
 - ・準備をしておく(近所付き合い、情報カードや名前を衣類に付ける・・など)
- ②『「徘徊模擬訓練」で感じたことを教えてください』
 - ・声かけ、接し方、イメージ通り行かないのが難しかった。
 - ・日頃からの地域のコミュニケーションの大切さを感じた
 - ・高齢者と子供の良い交流の場になった
 - ・もっと地域の方が関心を持って参加すべきなど。
- ③『あなたが「認知症」になったとして、住み慣れた地域で生活を続けるためには、何が必要だと思いますか?』
 - ・地域の取り組み、見守り、コミュニケーション、隣近所との関係、普段のあいさつ・・など。
 - ・集いの場、お店、何かあったら駆け込める場、巡回バス、標識・案内図、介護の相談できる場所
 - ・認知症の知識、要介護者・徘徊者の情報共有

貴重な意見、ありがとうございました。安心して過ごせる地域作りに役立てたいと思います。



※資料提供:帖佐地区拠点事業プロジェクト

いも植え体験をしました

まちづくり・環境部会では5月24日(日)に、子ども達に自然環境の保全に関する一環として、いも植え体験を幼児から高齢者を含む参加者全員で実施しました。

いも植えの前に、地域の指導者の方からいも植えの指導を受けた後、いも畝に名札を立ていもを丁寧に植えました。



また、子ども達は夏休みに入った7月19日(日)に、畠間の草取りをしました。子ども達は自分が植えたいもづるが大きく成長しているのを見ると、大変よろこんで真剣に草取りに励みました。



草取りが終わり、『皆さん大変ご苦労様でした。』

この後、子どもたちのスイカ割り大会を行い、疲れた体を休めながらスイカを美味しく頂きました。

